



会長就任にあたって

会長 神徳 眞也

会員各位におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、2025年度定時総会におきまして、山口県病院協会会長に任命された医療法人神徳会三田尻病院理事長の神徳眞也でございます。会員の皆様からのご信任に深く感謝申し上げますと共に、その重責に身の引き締まる思いでございます。

山口県の医療を取り巻く環境は、少子高齢化の急速な進展、医療ニーズの多様化・高度化、医師をはじめとする医療従事者の不足など、多くの課題に直面しております。加えて、医療収入を超えるスピードで人件費、償還されない材料費、委託費等の必要経費が増加しているため、病院経営そのものが悪化していることは皆様ご存じの通りです。今後、明るい病院の未来を描けるような診療報酬体系になるよう、強く求めていかなくてはなりません。このような状況において、山口県病院協会は、県民の皆様にも良質かつ適切な医療を提供するため、会員病院間の連携強化、医療従事者の確保と育成、地域医療構想の実現に向けた取り組みなど、重要な役割を担っております。

本年は、現行の地域医療構想の目標年となりますが、すでに2040年を見据えた新たな地域医療構想についての検討が進められており、昨年末に検討会の取りまとめが公表されました。2040年は、生産年齢人口が現在よりもさらに減少し高齢者の割合はさらに増加します。そうした中で、急性期病院から回復期、慢性期、在宅医療まで切れ目のない医療供給体制を構築し、患者さんが住み慣れた地域で安心して医療を受けられるよう、各医療機関は、なすべき責務を勇気と覚悟を持って果たしていかなくてはなりません。

医師、看護師をはじめとする医療従事者の不足は、山口県の医療の大きな課題です。特に医師の地域偏在と高齢化は深刻であり、その改善には今後、更に10年が必要な状況です。医師の働き方改革を推進するとともに、タスクシフティング/シェアリングを積極的に進め、医師の負担軽減を図る必要があります。更に看護師の確保と育成、多種多様な医療従事者の育成にも取り組まなくてはなりません。医療従事者が、働きがいを感じ、長く働き続けられるよう、労働環境の改善にも取り組まなければなりません。ワークライフバランスの確保、ハラスメント対策、キャリアアップ支援など多角的な視点から医療従事者の支援を強化し、魅力ある職場づくりを目指してまいりましょう。

これらの課題解決のためには、会員病院間の連携、行政との協働、地域住民の理解と協力が必要不可欠です。私は、会長として、会員病院の皆様とのコミュニケーションを密にし、皆様の声に真摯に耳を傾けながら、県内各病院が、地域に求められる適切かつ良質な、医療・介護・福祉提供体制を永続性をもって邁進できるよう、最大限の力を発揮していく所存です。会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

CONTENTS (目次)

山口県病院協会会長挨拶	1 ページ
協会役員コーナー	2 ページ
令和7年度定時総会	3 ページ
令和7年度顧問・役員一覧	4 ページ
優良職員表彰受賞者一覧	5～6 ページ
病院スタッフコーナー	7～8 ページ
研修会報告	9 ページ
諸会議報告	9 ページ
お知らせコーナー	10 ページ

協会役員コーナー

さあ、一緒にミライの話をしてよう



社会医療法人いち樹会
尾中病院
理事長 病院長

尾中 宇蘭

早いもので2025年ももう半分が過ぎました。私たち医療人にとって2025年と言えば、団塊の世代の方々が後期高齢者になることで生じる「2025年問題」が大きなテーマでした。これに対して、将来の人口推計を基に、各医療圏で必要な医療の量を計算し、急性期や回復期といった病院の役割分担を明確にして、地域全体で効率的な医療提供体制を築こうという取り組みが地域医療構想の骨子でした。今、私たちはその構想のゴール地点にいます。多職種連携による退院支援や、他病院との緊密な連携など、地域医療構想を基に進められてきた取り組みが実を結びつつあることは、皆さんも実感されていると思います。そして今私たちは、この取り組みで得た経験と仕組みを土台として、次に来るさらに大きな波、「2040年問題」に立ち向かう必要があります。高齢者のさらなる増加とそれを支える現役世代の減少などが大きな課題となりますが、国も2040年を新たなゴールとして、地域医療構想のブラッシュアップに取り組んでいます。

当法人でも昨年度から、次世代を担う職員有志を中心に「2040年を考える会」を立ち上げました。職種も年代も問わず、自由参加で行われたこの会で、多くの職員が意見を出し、分析し、法人の一員として、地域の医療人の一人として、2040年に向けての想いをまとめ上げてくれました。受け取った想いをどう実現していくか、経営陣としても大きな挑戦になると思いますが、職員とともに力を尽くしたいと思います。また、同じようにこれからの医療・介護について思慮を巡らせていらっしゃる方も多いことでしょう。私も山口県病院協会の役員として、会員病院の皆様と共に、より良い未来をこじ開けていきたいと考えています。さあ、一緒にミライの話をしてしまおう。

済生会山口総合病院におけるスペシャリスト集団 Expert Team Unit : ETU



社会福祉法人恩賜財団
済生会支部
山口県済生会山口総合病院
病院長

郷良 秀典

済生会山口総合病院の院内認定制度であり、看護師をその構成メンバーとするスペシャリスト集団、Expert Team Unit : ETUについて紹介させていただきます。

平成22～23年に、当院が急性期病院に特化しその機能を最大化し、他の病院との差別化を図るために、さまざまな部所で、より一層専門性を高めた人材育成の必要性が指摘されました。これを受けて、当院におけるスペシャリスト（専門性を高めた人材）のあり方、育成について検討し、まずは看護部の中の手術部、救急部、集中治療部、腎センター（透析）、カテーテル検査部の5部所でモデルを作ることにしました。

スペシャリストとは1) 専門的知識、技術を有し、2) 医師のパートナーとしてチームを組んで、3) 定期的ローテーションに組み込まれず1つの部所で長く勤務する人、としました。さらに、スペシャリストをシニアメンバーとジュニアメンバーに分けまし

た。シニアメンバーは、医師とチームを組んで高い知識、技術を発揮するスタッフで、狭義のスペシャリストです。ジュニアメンバーは、見習い、お試し期間中のスタッフです。

スペシャリストの院内での位置づけは、従来とは異なる新たな系統組織とし、従来組織復帰への回路も考慮したうえでExpert Team Unit : ETUと名付けました。

現在、当初の5部所に内視鏡室を加え、総勢11名のETUメンバーが活躍しています。働き方改革において、特定行為研修終了看護師と並んで医師の重要なタスクシフト先となっています。

令和7年度 定時総会開催

日時 令和7年6月3日（火）15：10～16：40

場所 山口グランドホテル 鳳凰の間
（山口市小郡黄金町1-1）



総会風景

開 会

三浦会長の挨拶とともに開会した。

その後来賓の村岡嗣政 山口県知事、柳居俊学 山口県議会議長（代理 有近眞知子 県議会環境福祉委員会委員長）、加藤智榮 山口県医師会長より、それぞれ祝辞が述べられた。



村岡氏

有近氏

加藤氏

次いで、病院優良職員の表彰状授与式が行われ、受賞者77名を代表して徳山中央病院河島智子氏に表彰状と記念品が授与された。



総会成立宣言

審議に先立ち、事務局より、会員総数125名に対して出席者105名（うち委任状67名）である旨の報告がなされ、三浦議長により総会が有効に成立する旨宣言がなされた。

議事録署名人選出

本日の議事録署名人として、片倉病院 高橋理事長及び阿知須同仁病院 西田理事長が選出された。

報告事項

議案の審議終了後、事務局より令和7年度事業計画及び収支予算について詳細に説明が行われた。

議案審議

○議案第1号

「令和6年度山口県病院協会 事業報告及び収支決算の承認について」

事務局より、令和6年度に実施した各種事業内容について説明と報告がなされた。さらに、令和6年度における当協会の収支決算状況について収支決算書に基づき説明と報告がなされた。

続いて郷良監事より、令和6年度の事業並びに決算関係資料について尾中監事とともに詳細に検討した結果、いずれも適正かつ適切に処理されている旨監査報告がなされ、審議の結果、原案どおり可決承認された。

○議案第2号

「任期満了に伴う理事及び監事の改選について」

事務局による任期満了に伴う理事及び監事の改選についての説明に続き、小田裕胤選挙管理委員長から立候補者全員当選の宣言が行われ、新役員が選任された。

○議案第3号

「顧問の委嘱の承認について」

顧問6名の委嘱について事務局より説明がなされ、承認された。

閉 会

三浦議長より、本日の定時総会はすべて終了したことが告げられ、議事の進行への協力に対する感謝の意が述べられ閉会となった。

◎特別講演

定時総会閉会后、地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアム理事の蔭山裕之氏による特別講演が行われ、58名が聴講した。

演題：地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアムの取り組みについて

講師：地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアム理事、事業局局长

蔭山 裕之 氏



特別講演風景



蔭山氏

令和7年度 一般社団法人山口県病院協会 顧問・役員名簿

令和7年度一般社団法人山口県病院協会定時総会及び総会後に開催された臨時理事会において、顧問・役員は下記のとおり選任された。

顧 問	江 里	健 輔	阿知須同仁病院 顧問
〃	小 田	裕 胤	美東病院 顧問
〃	木 下	毅	光風園病院 理事長
〃	水 田	英 司	小野田赤十字病院 名誉院長
〃	三 浦	修	防府胃腸病院 理事長病院長
〃	馬 場	良 和	周東総合病院 名誉院長
会 長	神 徳	眞 也	三田尻病院 理事長
副 会 長	尾 中	宇 蘭	尾中病院 理事長病院長
〃	郷 良	秀 典	山口県済生会山口総合病院 病院長
常 任 理 事	高 橋	幹 治	片倉病院 理事長
〃	玉 木	英 樹	玉木病院 病院長
〃	松 谷	朗	新南陽市民病院 病院長
〃	茶 川	治 樹	岩国市医療センター医師会病院 病院長
〃	西 田	一 也	阿知須同仁病院 理事長病院長
〃	稲 野	秀	長門一ノ宮病院 理事長病院長
〃	木 下	祐 介	光風園病院 病院長
理 事	橋 谷 田	博	周南記念病院 病院長
〃	吉 居	俊 朗	みどり病院 理事長病院長
〃	末 兼	浩 史	山口赤十字病院 病院長
〃	沼	文 隆	徳山中央病院 病院長
〃	西 崎	隆 文	宇部中央病院 理事長病院長
〃	吉 野	茂 文	関門医療センター 病院長
〃	吉 水	一 郎	脳神経筋センターよしみず病院 理事長
〃	脇 阪	敦 彦	山陽小野田市民病院 病院長
監 事	中 村	丘	全真会病院 理事長病院長
〃	瀬 山	厚 司	周東総合病院 病院長



受賞おめでとうございます

令和7年度 病院優良職員表彰 受賞者名簿

(病院名・氏名 50音順)

病 院 名	役 職	姓 名
阿 知 須 共 立 病 院	看 護 師 長	田 中 美 加
〃	看 護 師 長	松 下 智 恵
阿 知 須 同 仁 病 院	訪 問 看 護 管 理 者	住 谷 薫
〃	訪 問 看 護 准 看 護 師	中 村 陽 子
岩 国 病 院	看 護 師 長	中 谷 村 寛 子
岩国市医療センター医師会病院	看 護 主 任	大 崎 悦 子
〃	看 護 主 任	柴 田 保 枝
宇 部 記 念 病 院	看 護 科 長	加 藤 岡 澄 江
〃	外 来 看 護 師	西 山 奈 緒 美
宇 部 中 央 病 院	看 護 師 長	梅 村 和 薫
〃	看 護 師 長	神 原 敬 子
宇 部 仁 心 会 病 院	事 務 課 長	神 山 敬 子
宇部西リハビリテーション病院	医 事 課 主 任	岡 田 敬 希
〃	管 理 栄 養 士	松 岡 里 絵
宇部リハビリテーション病院	介 護 チ ー フ	久 保 美 江
〃	看 護 補 助 者 チ ー フ	長 岡 幸 枝
大 田 病 院	看 護 補 助 者	小 川 晶 子
〃	准 看 護 師	村 上 郁 子
岡 田 病 院	看 護 部 長	石 井 恵 子
〃	准 看 護 師	津 田 真 紀 子
小 郡 第 一 総 合 病 院	看 護 師	長 松 美 幸 枝
〃	看 護 師	藤 井 美 淑 枝
小 郡 ま き は ら 病 院	病 棟 師 長	宇 佐 川 徹
〃	精 神 保 健 福 祉 士	上 田 俊 行
尾 中 病 院	看 護 師	佐 々 木 美 佳 子
〃	看 護 師 長	吉 田 直 直 子
小 野 田 赤 十 字 病 院	看 護 部 長	吉 土 井 直 政 江
片 倉 病 院	看 護 主 任	柏 村 富 清 美 子
〃	調 理 員	吉 有 光 秋 達 敬 子
光 風 園 病 院	介 護 福 祉 士	吉 有 光 秋 達 敬 子
〃	病 棟 科 長	花 谷 田 智 紀 子
高 嶺 病 院	看 護 師	石 明 智 富 満 恵 子
〃	准 看 護 師	石 明 智 富 満 恵 子
齋 木 病 院	外 来 主 任	明 智 富 満 恵 子
重 本 病 院	看 護 補 助 者	吉 岩 上 田 末 清 子
〃	看 護 補 助 者	吉 岩 上 田 末 清 子
周 南 病 院	看 護 補 助 者	吉 原 清 照 幸 恵 子
周 南 記 念 病 院	保 育 主 任	高 松 清 照 幸 恵 子
周南市立新南陽市民病院	中 央 部 臨 床 検 査 室 室 長	高 木 村 幸 恵 子
〃	安 全 管 理 師 長	中 村 幸 恵 子

病 院 名	役 職	姓 名
周南リハビリテーション病院	リハビリテーション部リーダー	齊藤昌志
〃	看護師長	田宮寛子
桑陽病院	看護補助者	今田和子
田代台病院	准看護師	日野出浩一
〃	看護師	山崎久美子
都志見病院	看護係長	江山水初美子
〃	看護係長	奥川広徳子
徳山医師会病院	主任看護師	武藤村恵子
〃	看護補助者	河尾中智子
徳山中中央病院	看護師長	尾中井雅世里
徳山リハビリテーション病院	管理栄養士	櫻井田美里
〃	看護師	塩田村和恵子
仁保病院	看護師長	田村久美子
〃	看護師	國本尾美季子
福永病院	調理師	藤井昭綾子
〃	看護師	高橋初田絵里子
藤政府病院	准看護師	高橋初田美加子
〃	調理師	伏谷美絵子
松本外科病院	看護師長	河田月洋子
三田尻病院	歯科衛生士	若米木ノブ子
〃	准看護師	久米田珠美人
みどり病院	准看護師	下田江正貴子
〃	ケアワーカー	池山知美幸
桃崎病院	施設管理課副主任	神岡崎龍司
安岡病院	医事課職員	明岡崎龍生
〃	看護師長	藤本弥志津子
山口県済生会下関総合病院	中央放射線科技師長	石原重元
〃	地域連携室副室長	國重田まゆみ
山口県立こころの医療センター	臨床検査技師	大田元敏
〃	看護師長	原田政敏
山口大学医学部附属病院	薬剤主査	藤井
〃	介護福祉士	DE GUZMAN JEAN CRISTIE GARNICA
山口リハビリテーション病院	看護師	東郷久仁恵
〃	看護師長	都野伸男
湯野温泉病院	看護師長	
〃	運転営繕	

受賞者人数 44病院 77名

病院スタッフコーナー

良質で安全で心温まる医療を目指して



光市立光総合病院
地域医療連携室 主任
社会福祉士

清水 智博

当院は、一般病床143床、地域包括ケア病床47床、緩和ケア病床20床を有する病院です。

私は入職16年目で、地域医療連携室の社会福祉士として、患者さんやご家族・地域医療福祉機関からの様々な相談対応を主に行っています。

当病院へ来院される患者さんは突然の病気や怪我のため、患者さんのみならずご家族の生活も一変し、多くの不安を抱えておられる方が多く、支援が必要となります。しかしながら、声にならない思いを持たれている方も多いため、私たち地域医療連携室は積極的に患者さんやご家族と関わることを大切にしています。

また、様々な要因により思いや考えはそれぞれで、患者さん、ご家族、病院内の多職種間でもズレが生じ、すれ違うことも多く、結果として患者さんに不利益をもたらしてしまいます。そのため、患者さん・ご家族・病院内の多職種の思いや気持ち・考え方・価値観等を客観的に捉え、整理、共有し、支援することを常に心掛けています。

当院の理念である「良質で安全で心温まる医療を提供し、地域の皆様に信頼される病院」を実現するために、患者さんやご家族の顕在的なニーズはもちろんのこと、潜在的なニーズも把握し、退院をゴールとするのではなく、退院後の生活を見据え、患者さんを含めた全ての関係者でしっかりと情報共有し、支援を行うことで、当院の基本方針でもある患者さん中心の満足度の高い医療も提供できるように、病院内の専門職の一員として日々奮闘しています。

人生はつづくよ



医療法人若草会
小郡まきはら病院
臨床心理室主任
臨床心理士・公認心理師

岡村 真子

はじめまして。私は、小郡まきはら病院で心理職として働いています、岡村真子と申します。

小郡まきはら病院は、新山口駅の南側、徒歩圏内にある開院37年の単科の精神科病院です。ここに来てからおおよそ四半世紀になります。最初はデイケアで、現在は臨床心理室で、心理面接、心理検査などを中心とした仕事をしています。入職当初の職員証の顔写真にはまだハリもありましたが、今はシワも白髪も増えました。これも叡智の証かと慰めようとする「100年早いわ!」と心の声が被さってきます。

人と関わる仕事、ましてや、心理療法・カウンセリングという形での関わりには、即座の達成感は期待できず、長いお付き合いを覚悟することがしばしばです。百人百様の悩みの中で、一緒に漂い迷いながら、時間をかけてどの方向に抜け出るかを探る作業に、片や魅せられながら、片や挫折を繰り返しながらという日々は続いています。けれども、そのような経過の中で、実は堂々巡りの私よりも先に「ここから」と出口を決める人もあります。苦しい思いが完全にぬぐい去れたということではなく、いつしか自分の悩みに折り合いをつけて、自分の生活を続けていかれる姿をみると、それはもう達成感ではなく畏敬の念です。

人の中にある、そういった強さを信じて心理の仕事が今はできるようになったと思います。そして、そういう経験のできる、まきはら病院の環境にも感謝しています。

病院スタッフコーナー

健康福祉学への挑戦



医療法人光の会
重本病院
精神保健福祉主任
精神保健福祉士

田村 良次

コロナ禍のおうち時間を有効活用しようと思い立ち、山口県立大学大学院に通い、健康福祉学の修士課程を修了しました。仕事と学業の両立は、決して容易ではありませんでしたが、その甲斐あって、学業成績優秀者として表彰されました。

健康福祉学は、地域社会で生活する人々が生涯を通じて社会的・身体的・精神的に健康を保つことを目指す学問です。この学科の目的は、地域のさまざまな問題に対応できる専門知識と技術、実践力を備えた人材を育成することにあります。福祉職をはじめ、看護師や保健師、管理栄養士、作業療法士、理学療法士、介護支援専門員、心理職、行政職などのさまざまな立場や分野の専門家が、関心のある課題を深めるために研究に取り組む、ディスカッションをしながら、課題解決に向けて学び合うことが特徴です。

私の研究テーマは「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神保健福祉士の機能と役割」です。精神保健医療福祉の分野でも地域包括ケアの重要性が示されています。従来の多職種連携を発展させ、他業種を加えた分野横断的で重層的な支援体制を築くことが、誰もが住み慣れた環境で安心して暮らせる地域づくりにつながります。そのためには、地球規模で考えて地域で行動するグローバルな視点が求められます。

今後は、大学院での学びと実践に基づいた研究の経験を活かし、精神保健医療福祉領域の更なる発展に貢献できるよう努めてまいります。

地域に根差した理学療法士として



医療法人社団成蹊会
岡田病院
リハビリテーション室
理学療法士

奈古 智子

理学療法士として働き始め、20年の月日が経ちました。治療対象である患者様のために自分の知識・技術を向上させようと必死になっていた時期から、いつのまにか目の前の患者様だけでなく、病院全体や地域全体に目を向けるようになっていました。

理学療法士として働いていると、日々の運動不足や誤用（体の間違った使い方）により何かしらの障害を有してしまった方が多くみられ、予防医学がいかに大事であるかに気付かされます。特に現代の子どもたちは時代の影響を受け、自由に外遊びをしたり、クラブ活動で活発に動いたりする機会が少ない傾向にあり、平均して基礎的な筋力や正しい身体の使い方が身についておらず、将来早い段階で大きな怪我や障害につながるということが懸念されます。

私は理学療法士の資格を生かしスポーツトレーナーとしても活動していますが、私自身スポーツが大好きで、どんな人にもスポーツを楽しんで欲しいと考えています。スポーツとは激しく競い合うだけでなく、「心身の健全な発達や健康増進を目的として、個人や集団で行われる身体活動の総称」です。対象、人数、ルールなどを自分たちで変えることで、競技性のあるものから運動を苦手とする人でも楽しめるものまで幅広く設定できます。私はこの「スポーツの魅力」を皆様を感じていただき、当院の理学療法士としてまずは地域住民の健康増進を、県レベル、できればその先まで活性化を図りたいと考えています。

研修会報告

令和7年度 病院初級職員研修会

令和7年6月18日（水）セントコア山口において、病院初級職員研修会が開催され、入職後概ね3年目までの職員64名が参加した。研修会の演題・講師は以下のとおり。

演 題 「医療接遇研修 ～基本編～」

講 師 株式会社K・mind 代表 松永 佳世子 氏



松永 佳世子 氏



研修会風景

諸会議報告

令和7年度 第1回理事会

日 時 令和7年5月15日（木）15：30～17：00

開催場所 山口グランドホテル

【議 事】

1. 令和7年度定時総会提出議案について
 - ・令和6年度事業報告書及び収支決算書について
 - ・任期満了に伴う理事及び監事の改選について
 - ・顧問の委嘱の承認について

【承認事項】

1. 令和7年度収支予算書について
2. 令和7年度病院優良職員表彰について
3. 令和7年度医療懇話会について
4. 「第36回全国介護老人保健施設大会 山口」後援名義使用許可について

【協議事項】

1. 山口銀行との病院団体金融懇談会について

【報告事項】

1. 県行政委員等の推薦について
 - ・山口県救急業務高度化推進協議会委員
常任理事 西田 一也（再任）
 - ・山口県感染症対策連携推進協議会委員
常任理事 木下 祐介（新任）
 - ・山口県新型インフルエンザ等対策協議会委員
常任理事 木下 祐介（再任）
 - ・山口県救急業務高度化推進協議会幹事
理事 橋谷田 博（再任）

- ・山口県予防保健協会理事
監事 尾中 宇蘭（新任）
- ・山口県循環器病対策推進協議会委員
監事 尾中 宇蘭（新任）
- ・山口県予防保健協会評議員
事務局長 光永 将（再任）

【その他】

令和7年度 臨時理事会

日 時 令和7年6月3日（火）16：40～16：55

開催場所 山口グランドホテル

【議 事】

1. 山口県病院協会理事の役職の選定について
2. 山口県病院協会役員業務分担について
3. 山口県行政委員等の推薦について

令和7年度 第1回情報管理委員会

日 時 令和7年6月13日（金）15：30～16：30

開催方法 Web会議（Zoom）

【協議事項】

1. 7月号の発行について
2. 10月号の発行準備について
3. その他

お知らせコーナー

山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰

令和7年6月28日、山口県病院協会より推薦した8名の方が、多年にわたり看護業務に従事した功績により、山口県健康福祉功労者（優良看護職員）知事表彰を受賞されました。
おめでとうございます。

氏名	病院名
内田 久美子	山口赤十字病院
小澤 伸枝	岩国市医療センター医師会病院
中野 澄江	宇部中央病院
濱新 佳代子	重本病院
廣永 真由美	桃崎病院
藤枝 史朗	福永病院
八木 裕子	徳山中央病院
米原 美奈子	山口県立総合医療センター



表彰式にて
(氏名の50音順にて表記) (左から：濱新氏、藤枝氏、米原氏)

会員の異動、変更など

【会員の異動】

	変更後	変更前
・下関医療センター	病院長 大下 昇	病院長 山下 智省
・周東総合病院	病院長 瀬山 厚司	病院長 馬場 良和
・徳山医師会病院	病院長 松本 美志也	病院長 中村 和行
・湯野温泉病院	理事長 都野 公一	理事長 堀家 英敏
・	病院長 小金丸 恒夫	病院長 堀家 英敏
・おか整形外科病院	病院長 丘 雄介	病院長 丘 茂樹
・柴田病院	病院長 武田 茂	病院長 西田 輝夫

【病院名の変更】

- ・おか整形外科病院 (旧 丘病院)
- ・脳神経筋センターよしみず病院 (旧 よしみず病院)

会員の退会

- ・岩国市立錦中央病院

病院協会の主な行事予定

- 7月9日 第2回理事会 (会場：山口グランドホテル)
- 8月9日 夏期医療経営講習会 (会場：山口グランドホテル)
- 8月19日 山口県健康福祉部との医療懇話会 (会場：かめ福オンプレイス)

編集後記

◆先日閣議決定された骨太の方針2025に、我々医療者を期待させる文言が記載されました。『医療・介護・障害福祉等の公定価格の分野の賃上げ、経営の安定、離職防止、人材確保がしっかり図られるよう、コストカット型からの転換を明確に図る必要がある。』というものです◆これまでの「社会保障関係費の増加を高齢化による増加分に相当する伸びに抑える」との考え方を一部見直し、物価や人件費の増加分を補填することを示唆するもので、高く評価できると言えるでしょう◆しかし、実際にどのように診療報酬に反映されるかは予断を許しません。これからも注視し、国に声を届けていく必要があります。まずは参議院選挙から… (尾中 宇蘭)